

鎌倉地域の漁業支援施設整備に係る説明会 議事概要

1. 説明会の概要

日 時：令和3年（2021年）2月21日（日）

13:00～15:00、17:00～19:00

場 所：鎌倉商工会議所会館

参加人数：46名（13:00～）、35名（17:00～）

2. 議事結果

漁業支援施設整備事業について説明を行った。

3. 質疑応答

13時～

質問者1

・資料に協議結果についてHPで公開とあるが、パソコンを持っていない人のために新聞等（広報かまくら）にも載せてほしい。

⇒広報かまくらに掲載するスペースがあるので今後検討する。

・事業費15～20億円に対する経済効果はどの程度か。

⇒詳細な数字については今後算出していく。

・市民一人あたりの負担額はどうか。

⇒全額市の負担ではなく半分は国庫補助できるように調整中である。その他の補助についても使えるものを今後検討していく。

・漁業者以外のメリットが感じられなかったが、市民にどのようなメリットがあると考えられるのか。

⇒直接的な効果はないかもしれないが、間接的にメリットが得られると考えている。

・施設整備により海の景観が変わり、背後マンションの資産価値が減少すると思うが、補償はあるか。漁業者のために漁港を造って、マンション住民のために何も考えてくれないのはおかしいのではないか。

⇒今後具体的な設計計画を検討していく際に、周辺の皆さんにかかる負荷（景観等）に関しても継続して説明していく。

・質問に対して正式な回答をHPや新聞などで周知してほしい。

⇒広報かまくらに掲載するスペースがあるので今後検討する。

・作業小屋がすべてなくなるイメージを示しているが、本当になくなるのか。わかめはどこに干すのか？

⇒わかめ干しなど一時的に浜を使用することはあるかもしれないが、浜小屋などの構造物は基本残らない。地引き網の用具などは残る可能性はある。

・斜路を新たに整備することの高波・津波対策は大丈夫か。

⇒施設を整備することで高波越波のリスクが拡大することはない。本施設は漁業支援施設なので津波に対する効果は見込んでいない。

・他所から来る釣り人の対策を考えているか。

⇒管理上の話なので、今後詳細な検討を進める。

・最終決定の際に住民投票は考えているのか？どのような形で正式に決まるのか。

⇒市として住民投票は考えていない。最終的な意思決定の場を設けることはない。漁業支援施設の整備は市の基本計画、実施計画等に位置付けられているので、行政としては事業を実施する意思を持っている。今後県に埋め立てのための許可を得る、議会に予算を承認してもらう等の手続きを進めていく。その中で詳細な検討を進める際に、住民の意見も伺っていく。

質問者 2

・本事業は坂ノ下地区の漁業者が望んでいることなのか。市の主導ではないのか。

⇒漁業者から必要とされているものである。

・倉庫・漁船数は現状どの程度あるのか？今のイメージ図を見ると、絵に示された施設の大きさと全ての設備が収まるのか疑問である。

⇒施設の規模について、漁業者たちと相談を重ねている。最小限の規模とするため、今ある小屋等をそのまま移すのではなく、移転先に収まる大きさと相談をしている。

質問者 3

・どういう意図の施設なのかわかりづらかった。支援施設のサイズが小さすぎると思う。漁業者が減っているという説明があったが、施設整備は将来的に漁業者を増やすつもりがあつてのことか。

⇒この説明会では漁業者だけのための施設ではないことを説明したかった。サイズは現状と比べると小さくなっていると思う。施設の大きさは、既存の浜小屋、設備等の大きさを測ったうえで、現在の漁業者が利用するには十分な広さを確保している。現在の利用している漁業者が継続して漁業をできるようなものであり、今後漁業者が極端に増加した場合は見込んでいない。

・CG 動画を見ると、施設は木造に見えるが、CG で示された施設の高さだと台風に耐えることができないと思う。

⇒現在はあくまでもイメージとして示している。具体的な施設の設計は今後行う。

・海面上昇が起きた時のことも考えてほしい。建物の規模や埋め立ての面積など具体的な数値を HP に公表してほしい。

⇒今後具体的な仕様については検討し、公表していく。

・朝市を行った時の交通管理のやり方なども示してほしい。

⇒今後検討する。

・災害に対して強いのか？イメージを見る限り強そうではない。

⇒現時点ではイメージなので、今後詳細を詰めていく。

・施設を整備したことで車の出入りが増加することはないか。

⇒漁業者の車の出入りを想定しており、利用時間も限られているため、車の出入りが増加することはないと考える。

質問者 4

・材木座地区の漁業者の設備も支援施設に移るイメージか。

⇒その通りである。

・支援施設を整備することで、整備区域が漁港区域になると考えられる。漁港区域になることで管理者が移る可能性はあるか。

⇒漁港区域内は市の管理となる予定である。

・管理者が移る場合の境界線を次回の説明会で説明してほしい。

⇒現在は手引きに基づいた設定を検討している。施設の周囲 50m 区間とする予定である。

・材木座地区の漁業者も使用することを考えると、現在の規模では小さいのではないか。施設の規模や大きさを教えてほしい。

⇒昭和 28 年から現在まで数度にわたり、鎌倉地域の漁業者から漁港建設の希望が出ている。平成に入り漁港建設の計画を立てた際、市民より環境への影響や財政負担の面で反対意見も頂いている。しかし市として、坂ノ下～材木座地区の漁業者の現状を説明する中で、最小限の施設は必要であるという事について市民の方のご理解を頂いたと認識をしている。そのような過去の経緯から最小限の規模での施設整備を考えている。突堤から斜路までの距離、幅は 60m を想定している。

質問者 5

・気候変動による海面上昇の影響はどの程度検討しているか。

⇒現時点で気候変動については考慮していない。今後、国の設計基準の改定に合わせて考慮していく可能性がある。現時点では国の明確な設計基準が示されていない。

・令和 8 年度に工事着工を予定しているが、それまでの具体的なスケジュールはどのようなものか？

⇒実施計画に示してある通り、令和 3~4 年度に漁港区域の指定、都市計画の変更、事業計画書の作成、令和 5 年度に地質調査、深浅測量、斜路の設計、令和 6 年度に条例の手続き・公有水面の埋め立て申請、令和 7 年度に工事積算を行い、令和 8 年度以降に着工を行う工程である。

・突堤周辺では消波ブロックが砂を蓄え水深が浅くなり、越波が生じている。斜路・構造物を作ることでより海が浅くなり、高波越波のリスクが上がることはないのか。

⇒今回整備する施設は一号突堤の遮蔽域にあたるため大きな影響はないと考える。

・支援施設前面の斜路から一号突堤までを浚渫するというイメージか。

⇒船舶が通れる水深に浚渫を行う予定である。

・砂浜からの出漁という仕方を利点とはしないのか？日本でも珍しいユニークなものだと思うが、観光等に活かさないのか？鎌倉の漁業者にとって今のスタイルよりも便利なものがないからそのような構造物を作ってほしいという意図があるということなのか。施設をつくることで地引網のあり方も変わるか。

⇒過去に観光漁業の話をしたときに、このままの出漁方法では持続性がないと考えている。

・現状の鎌倉地区の隻数を教えてほしい。支援施設の大きさは全ての漁船を格納することができる広さなのか。

⇒鎌倉地域の漁船数は材木座地区と合わせて約 50 隻である。

漁業者との協議において、環境への負荷を減らしたいという意見がある。

そこで 50 隻をそのまま移動するのではなく、時期によって使わない漁具は砂浜ではなく既設斜路や材木

座地区の船揚げ場に保管するなどして、必要な漁具だけを集約することを考えている。

発言者1 (坂ノ下の漁業者)

・実態として突堤付近に砂はたまっていない。むしろ砂がなくなり岩盤が見えている。越波の原因は砂浜の影響というよりも台風による越波が原因だと思う。

発言者2 (地引網の漁業者)

・地引網は砂浜から網を仕掛ける必要があるため、支援施設とは別の話である。
去年の5月、朝3時ごろに船を出したとき、大波を受けて漁船がひっくり返って船内に閉じ込められた。よくこういった事故で死亡者が出る。カマクラスタイル(現在の鎌倉地域の漁業スタイル)を続けていくのであれば、これからも事故が生じる可能性が高い。他の地域では港が整備され、漁業者の安全が確保されてきているが、鎌倉では漁港がまだ整備されていないため、ぜひ整備してほしい。

質問者6

・「漁港を作る」というのが今回の説明会のポイントだと思うが、なぜ「漁港を作る」と説明せず漁業支援施設を作ると説明するのか。

⇒法的な位置づけからすると漁港となる。一方で漁港対策協議会で示されたような施設の周りを消波構造物で囲うイメージではなく、最低限の機能を持たせた施設をつくることを想定していることから、漁業支援施設という言葉を用いている。

・漁港と漁業支援施設と名称が違くと法的な扱いが違いハードルが高くなると思う。これから国庫の補助を受けるのであれば、分かりやすい漁港という名称に変更したほうが良いのではないか。

⇒国・県とこの名称で協議を進めており、補助については問題がないと認識している。

質問者7

・広報かまくらを見て参加した。記事を見たときは、市民参加型で漁業者を支援するという施策かと思っていたが、説明会を聞くと土木構造物を作る話でがっかりしている。今後は広報の記載方法も分かりやすくしてほしい。

・環境アセスメントの対象になっているか。結果をきちんと公表してほしい。

⇒環境アセスメントが必要であるかは県の条例に基づき、環境評価を実施しつつ検討を進める。

発言者3

・支援施設を作ることに加えて、ソフト面で付加価値を加えること、例えば、障害者や特別養護老人ホームの高齢者の参加がかなうことができれば望ましい。

・ビーチフェスタでは車いすが砂浜に出るためにマットをしいている。また障害者が海藻ポークの為の海藻を干すなどしている。マットの保管場所や海藻を干す場所、その際の駐車場の確保なども検討してほしい。

・ハード対策に加えてソフト面についても福祉やスポーツ関係も含めて意見を反映させてほしい。

17時～

質問者1

・現況として、既設斜路から海岸を見ると、砂浜が消失しており波が来ている。施設ができることにより、砂浜の形が変わり、波浪が護岸まで迫るようなことはあるか。
⇒汀線の大きな動きはないことを数値解析で確認している。現在の砂浜は、浜小屋の撤去により県事業の一体的な養浜が行えると考えている。

質問者2

・季節を問わず台風や低気圧が襲来すると浜小屋が壊れる恐れを感じている。早めの整備をお願いしたい。
⇒令和7年度までの工程を組んであり、令和8年度以降の着工を予定している。整備を前倒しできるかは財政等を含めて検討していく。

質問者3

・材木座地区の浜小屋、漁業者の扱いはどうなるのか。
⇒坂ノ下だけではなく、材木座の漁業者も対象として集約する予定である。
・材木座の浜小屋も撤去ということによいか。
⇒その予定である。

事務局より（13:00からの説明会後の質問）

・突堤を整備することで波に影響はあるか。
⇒数値解析の結果から、突堤を整備したことによるマリンスポーツへの波の影響はないと考えている。

質問者4

・この施設ができることで地産地消が拡大することにつながるか。現在市民は鎌倉産の水産物を食べられてないと思う。
⇒現在月一回鎌倉パークホテルを借りて朝市を実施している。施設整備で直販の場所ができるなど、より身近に接してもらえる機会は増える。
・海岸での保全活動が一部の人にしか伝わっていないと思う。市民が保全活動に参加できるようにより広く周知してほしいと思う。SDGsの観点から「私たちの財産としての海を守る」という捉え方を市民ができるようにしてほしい。
⇒ミヅキカマクラPJを通して、支援施設を整備するにあたりハードの施策だけではなくソフト面での活動も含めて、環境保全が行われるよう啓発を行い、関心を向けていただけるようにしたいと思う。

質問者 5

・施設整備を前倒しにできないか。やるなら早くやればいい。なぜ10年もかかるのか。今の問題点は何か？

⇒事業計画として10年を見込んでいるが、公有水面埋め立て申請など行政上の手続き、財政面の都合があり、何か計画を遅らせている要因があるわけではない。状況が変われば整備を早められる可能性はある。

・夏には南風が吹くことから、マリンスポーツをしている人が支援施設の東側の消波ブロックにぶつかりケガをする可能性があると思う。危なくないような、より見た目の良いブロックはないものか。

⇒現在のCGはイメージであるため、消波ブロックの検討は今後行う。

・一号突堤は波あたりが強い箇所である。より頑丈な施設を整備する必要があると思う。

⇒一号突堤は沈下しており、船揚場から漁船を出し入れするためには、波を穏やかにするために突堤のかさ上げが必要である。なるべく環境に負荷を与えない方法での対策工については今後検討する。

・一般市民も参加できる整備があると楽しいと思う。何かやれることはないか。(例：漁業者と漁協の経営するレストランを併設するなど)

⇒漁業者だけの施設ではなく市民の皆さんが使える施設にしたいと思う。今後詳細を詰めていく。

質問者 6

・必要最小限で現実的な規模だと思った。この案であれば市民合意ができると思う。財源が課題なのであれば、他の事業も含めて優先順位を考えてほしい。持続可能な漁業の環境を作ることは非常に大切だと思う。

⇒事業を実施するためには財政だけでなく行政上の管理の検討などステップがある。早期実現できるように関係各所に図っていく。

・市民合意を得るためには、沿岸地域を中心として広く周知していくことが必要であると思う。HP以外にも周知する予定はないか。

⇒沿岸地域への説明は丁寧にする。HP以外にも個別で出前説明会を実施する予定である。

質問者 7

・先日の大雨で道路下まで砂浜が抉られていた。影響がないことを調査した結果の公開予定はあるか。

⇒HP等で公開していく。

・ミヅキカマクラブプロジェクトでは、海岸で行われている活動基盤を強化していく予定があると思うが、具体的にはどのような計画があるか。

⇒この説明会をキックオフとして市民の意見を伺いつつ、基盤を強化する施策を考えていきたい。

質問者 8

・アニメーションに表示されていない、他の既設斜路は撤去するのか。

⇒アニメーションでは表示させておりませんが、撤去する予定はございません。

・先日の大雨で養浜した砂が流されている。道路の下までえぐられている現実がある。消波ブロックを延長するなど、砂浜管理についても検討してほしい。

⇒本施設の整備で砂浜への影響は小さいと考えている。砂浜の管理については、海岸管理者の県と連携が必要と考えている。